

北京パラリンピック・増える写真展



2008年9月4日(木) → 23日(祝) 9:30~18:00 会場：NHKアーカイブス (彩の国ビジュアルプラザ2F)

北京パラリンピック・増える写真展にあたって

現地からインターネットを使って配信した写真データを離れた場所でプリントし、パラリンピックで日々刻々と起きているニュースを伝える報道写真展です。

増える写真展は、2000年シドニー大会の際に神奈川県横浜市で第一回目を開催し、その後、2002年ソルトレーク大会（1会場）、2004年アテネ大会（3会場）、2006年トリノ大会（9会場）と会場数を増やししながら、2006年トリノ大会よりJPC共催のイベントとなり現在に至っています。

日本各地で、地元の有志による写真展を企画・開催してもらい、中国北京市で行われるパラリンピックの躍動感溢れる写真により、多くの人々に伝えるチャレンジをしております。

今回の2008年北京パラリンピック大会では、参加者が中心となって行う参加型報道写真展と

して内容を充実させ、さらに多くの会場、多くの人たちにその機会を提供し、パラリンピック報道の一端を担うことによって、より深く障害者スポーツを知り、伝え合うことで理解を深めてもらいたいと考えています。モデル会場として、NHKアーカイブズ（埼玉県川口市）始め数カ所に開催。

パラリンピックには、スポーツエンターテインメントとして魅力があると、私たちは確信しています。、障害者の社会参画促進の啓蒙を促し、福祉を理解するきっかけとして、是非とも、増える写真展の開催にご協力をお願い申し上げます。

NPO法人「国際障害者スポーツ写真連絡協議会」とは

2000年任意団体活動を開始、2001年、内閣府に非営利特定活動法人（事務局・横浜）。障害者スポーツへの理解を深めるため、スポーツカメラマンやライターなどジャーナリスト、学生ボランティアなど様々な人材で運営。パラリンピックなど障害者スポーツ大会を中心にインターネットで写真や情報を提供中。

増える写真展は2000年シドニー大会横浜市で初開催。以後、02年ソルトレーク大会（1会場）、04年アテネ大会（3会場）、06年トリノ大会（9会場）で開催。トリノ大会からはJPC共催のイベント。